

第2次障害者計画・第3期障害福祉計画「パブリック・コメント」意見一覧

番号	項目	意見・提案の内容（要旨）	石巻市の考え方
1	第1部 序論 第1章 計画策定にあたって	これまでの重度重複障害者や心身障害（心身障害児通園で使用）や、今回記載された重症心身障害児者などと表記されている人々の捉えが明確でない。	一般的に障害を2つ以上合わせ持つ重複障害のうち、知的障害がある状態のことを称して重度重複障害と言いますが、そのうち、重度の知的障害及び重度の肢体不自由が重複している児童を重症心身障害児と言います。本計画では、それぞれの制度や事業に沿った表記としています。
2	第1部 序論 第1章 計画策定にあたって	石巻圏域として女川町だけでなく、東松島市とも連絡を密にして行く必要も感じます。行政同志・社会福祉法人同志の連携・情報を共有する事でサービス・相談事業がより一層の充実を図れると思います。	P7第1章-4-(3)の推進体制に記述していますとおり、関係機関等と連携して障害福祉サービス等がより一層充実するために取り組んでいきます。
3	第1部 序論 第1章 計画策定にあたって	障がい当事者の意見をより多く、広く反映させるため、「石巻市障害福祉推進委員会」に様々な種類の障がい当事者が参加することを希望します。	障害者基本法第9条第3項に規定する市町村障害者計画及び障害者自立支援法第88条第1項に規定する市町村障害福祉計画の策定及び推進に当たり、広く市民の意見を聴取するため、石巻市障害福祉推進委員会を設置しています。 今後の参考とさせていただきます。

番号	項目	意見・提案の内容(要旨)	石巻市の考え方
4	第2章 障害のある人を取り巻く環境	<p>災害時要援護者避難支援の仕組みについて、福祉避難所に行く前に、住まいにしている地域に、避難タワー・避難ビルがあれば災害をやり過ごすことが出来るのではないかと思います。障がい者自身も地域の慣れた方々と一緒の方が心強いと感じます。むろん、日頃から近隣の方々とコミュニケーションをとる事が大事です。</p>	<p>P 6 9 第4章 基本目標4 施策4-4の緊急時・災害時の安心安全の確保に記述していますとおり、安全に避難できる場所を確保し、障害の特性に配慮した避難支援体制の強化を推進します。</p>
5	第2章 障害のある人を取り巻く環境	<p>成年後見について、市民後見人の養成とありますが、個人ではなく、石巻の社協・司法書士・弁護士さん達が共同体となり、法人化された所で管理すれば良いと思います。(仙台にはリーガルサポートセンターがあります。)</p> <p>現在、入所中で親亡き後、1人戸籍になったときにはどうなるのか? 日常的な出費は施設にお願いするとしても、リーガルサポートセンターに頼むしかないと思っています。そのような時、子供の籍を施設の所在地に移動するしかないと思っています。他に選択肢が無いものなのか?</p>	<p>成年後見制度の申立てを行う親族等がいない市民に対して、関係法令に基づき、市長が申立てすることができます。このような場合、市では成年後見等の選任を家庭裁判所に決定していただき、必要な福祉サービス等が利用できるように支援することができます。</p> <p>P 4 1 施策1-3 人権・権利擁護の推進により、制度の周知と利用を推進します。</p>

番号	項目	意見・提案の内容(要旨)	石巻市の考え方
6	第2章 障害のある人を取り巻く環境	<p>ショートステイ・入所施設について、特に医療ケアを必要としている方の短期入所に関しては、石巻圏内にはありません。連れていくのに時間がかかり、本人に負担がかかり、親も負担です。親も高齢化しています。面会に行くだけでも、きついのが現状なので、長期的に入所施設がほしいです。</p> <p>ショートステイのベッドの負担を、県・地元の行政でせめて半額負担して頂ければ、事業者も前向きに考えられ、空きベッドを確保していただけるのではないかと思います。</p>	<p>P46 施策2-2 保健・医療サービスの充実や、P49 施策2-3 障害福祉サービスの充実により、医療的ケアが提供できるサービスの充実が必要との声も多く、保健医療と福祉分野とのさらなる連携を推進し、障害の状況に応じたきめ細かな支援が提供できる体制づくりに取り組みます。</p> <p>また、医療ケアの必要な方への短期入所等の対応は課題となっているため、利用者・事業者の両面から実情の把握に努め、関係機関等と連携し、具体的な施策を今後とも検討していきます。</p>
7	第2部 障害者計画 第3章 基本構想	<p>医療的ケアが可能なサービス事業所の整備を推進、緊急時やレスパイト、短期入所として利用できるサービス提供体制を確実に</p>	<p>P46 施策2-2 保健・医療サービスの充実や、P49 施策2-3 障害福祉サービスの充実により、医療的ケアが提供できるサービスの充実が必要との声も多く、保健医療と福祉分野とのさらなる連携を推進し、障害の状況に応じたきめ細かな支援が提供できる体制づくりに取り組みます。</p> <p>また、医療ケアの必要な方への短期入所等の対応は課題となっているため、利用者・事業者の両面から実情の把握に努め、関係機関等と連携し、具体的な施策を今後とも検討していきます。</p>

番号	項目	意見・提案の内容(要旨)	石巻市の考え方
8	第4章 施策・事業の展開	<p>施策2-3 在宅障害福祉サービス、日中活動、居住・生活の場、障害児支援(P51~52内引用)において、医療的ケアへ対応できる仕組みを整えるべきと考えます。別項目を設けているのは別予算、別枠でのサービス提供を検討すると期待できるのか。</p>	<p>P46 施策2-2 保健・医療サービスの充実や、P49 施策2-3 障害福祉サービスの充実により、医療的ケアが提供できるサービスの充実が必要との声も多く、保健医療と福祉分とのさらなる連携を推進し、障害の状況に応じたきめ細かな支援が提供できる体制づくりに取り組みます。</p> <p>また、医療ケアの必要な方への短期入所等の対応は課題となっているため、利用者・事業者の両面から実情の把握に努め、関係機関等と連携し、具体的な施策を今後とも検討していきます。</p>
9	第4章 施策・事業の展開	<p>施策4-1 災害復興住宅を全戸バリアフリーにすることを要望します。</p>	<p>災害復興公営住宅のバリアフリー化については、所管課(復興住宅課)においてバリアフリー化整備を進めている状況ですので御提案として伺います。</p>

番号	項目	意見・提案の内容(要旨)	石巻市の考え方
10	第4章 施策・事業の展開	<p>施策4-1 JRの駅のバリアフリー化や路線バスのノンステップ化など、公共交通機関のバリアフリー化に対して、市からも積極的に働きかけを行うよう要望します。</p>	<p>P63基本目標4 施策4-1ユニバーサルデザインのまちづくりの推進により公共施設はもとより、民間施設においても障害のある人の利用を前提とした建築物の整備にも努め、物理的バリアの除去など、移動手段の整備を促進します。</p>
11	第4章 施策・事業の展開	<p>施策4-4「避難できる場所及び経路の確保が急がれる」と現状課題には記載されているが、具体的取り組みはあげられていない。車いすなどへ配慮のある避難路整備は不可欠です。</p>	<p>P68施策4-4緊急時災害時の安心安全の強化により、地域防災計画と連携しながら、安全かつ円滑に避難できる場所及び避難路の設定に努めます。</p>
12	第4章 施策・事業の展開	<p>施策4-4福祉避難所について知的障がい児・者とその家族が安心して居られるスペースの確保を要望します。発電機の設置など、医療ケアが必要な人への対策を要望します。</p>	<p>P68施策4-4の緊急時・災害時の安心安全の確保に記述していますとおり、安全に避難できる場所を確保し、障害の特性に配慮した避難支援体制の強化に努めます。</p>

番号	項目	意見・提案の内容（要旨）	石巻市の考え方
13	第4章 施策・事業の展開	<p>重症障害児者に対する支援・入所者の地域移行について、医療ケアの必要な未就学児の親が積極的に相談できるようなシステムがあれば良いと思います。未就学児に関しては、保健師が担当していると思うのですが、早めの相談を勧めて頂きたいと思います。若いお母さんたちの気持ち話を話す場（支援センターのような）があれば、聞いてもらえるだけでも、気持ちが軽くなると思います。障害児を育てた経験が活かしたらと思っています。</p> <p>娘は、入所中ですが地域移行に関して、現状では不安です。医療ケア・24時間の介護・見守りの目が必要な子にとって、どのような形が良いのか？ケアホームの形をとるにしても医師あるいは、看護師の目が必要な者にとって、医師が常駐している施設の存在は有難いし、安心していられます。病院の隣に入所施設があれば、などと、勝手なことを考えたりします。やはり、石巻圏域に入所施設をと願ってやみません。</p>	<p>P43 施策2-1 相談支援体制の充実やP54 施策2-4 地域生活移行の推進により、地域での生活の拠点を確保することが難しい重度身体障害者等については、サービス提供事業者の状況の把握に努め、障害者の地域生活を支える相談支援体制の整備や、地域移行支援、地域移行定着支援を活用し、関係機関と連携しながら、必要な保護者支援とその方法について検討を進めていきます。</p>